

平成 30 年度

府中市教育委員会点検・評価報告書

(平成 29 年度事業対象・ダイジェスト版)



アニメーター 安藤雅司氏による

原画 《タイトル》

9年間の学習成長
～1年ごとの満喫～

平成 30 年 12 月

府中市教育委員会

I 府中市教育委員会における点検・評価の取組について

- 1 事務事業評価は、事業を実施している所管課が事務事業の現状を把握し、認識した上で、目的を達成するために解決すべき課題を発見し、具体的な改善につなげていく取組みです。

事務事業評価制度を導入することにより、事業所管課が事業の成果を組織的、定期的及び客観的に見直し、データに基づく改革・改善を行いやすくなるという効果が期待できます。

- 2 点検・評価の対象となる事業

第4次府中市長期総合計画の第1期実施計画内の事業で、教育委員会の主要な事業を対象として行った事業について点検・評価の対象とします。

- 3 対象となる期間

平成29年度とします。

- 4 点検・評価の実施方法

- (1) 教育委員会における点検・評価

事業の担当課が自己評価する1次評価と教育委員会全体として総合的に評価する2次評価の2段階で実施します。

- (2) 学識経験を有する者の知見の活用

評価の客観性を確保するため、外部の有識者による評価を行います。

学識経験を有する者として、前府中市教育委員会教育委員 田中幸夫氏に御意見をいただきます。

- 5 評価方法

事業の執行結果について、活動指標、成果指標、事業コストを用いて「目的妥当性」、「有効性」、「効率性」及び「公平性」の観点から評価を行います。

II 教育委員会の活動状況

i 教育委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が市議会の同意を得て任命した5人の教育委員により構成されています。平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により教育委員会制度の抜本的な改革が行われ、平成27年10月1日に教育委員長と教育長を一本化した新教育長を設置しました。

平成30年3月31日現在

職名	氏名	任期	
教育長	平谷昭彦	平成27年10月1日～ 平成30年9月30日	2期目
教育長職務代理	骨田るり子	平成28年12月19日～ 平成30年12月18日	2期目
委員	古川一雄	平成27年7月3日～ 平成31年7月2日	1期目
委員	高橋良昌	平成28年12月19日～ 平成32年12月18日	1期目
委員	和知啓子	平成29年10月1日～ 平成33年9月30日	1期目

ii 教育委員会の開催状況について

定例会、臨時会など平成29年度は、19回の教育委員会会議を開催し、51議案について審議しました。

Ⅲ 事務事業の点検・評価の結果

[結果一覧表]

i 教委総務課関係

事業名	1次評価	2次評価	備考
学校施設改修事業	目的絞込	目的絞込	
通学バス等運行業務委託事業	事業改善	事業改善	
給食センター厨房機器改修計画事業	現状維持	現状維持	
上下町民会館改修事業	目的絞込	目的絞込	
備後国府跡確認・整備・活用事業	目的拡大	目的拡大	
府中市歴史民俗資料館改修事業	現状維持	現状維持	

ii 学校教育課関係

事業名	1次評価	2次評価	備考
外国語指導助手招致事業	目的拡大	目的拡大	
キャリア教育推進事業	現状維持	目的拡大	
適応指導教室	現状維持	現状維持	
小中一貫教育推進事業	目的拡大	目的拡大	
放課後児童クラブ推進事業	事業改善	事業改善	
グローバルキャンプ	目的拡大	目的拡大	
コミュニティ・スクール	現状維持	現状維持	

iii 生涯学習課関係

事業名	1次評価	2次評価	備考
公民館修繕事業	現状維持	現状維持	
国府公民館建替事業	現状維持	現状維持	
学習拠点としての整備(TAM・公民館)	事業改善	事業改善	
移動図書館車の更新	目的拡大	目的拡大	
市民プールの建替え	目的拡大	目的拡大	
市民の健康増進のためのスポーツ推進事業(リーダー育成事業)	現状維持	現状維持	
スポーツイベント	事業改善	事業改善	
体育施設修繕事業	現状維持	現状維持	

iv 外部有識者による評価

1 施設整備

学校施設については、長期間に渡り実現できなかったトイレの洋式化を含めた改修工事が着実に進められていることは、評価に値することと考える。

応急的にされてきた学校施設の修繕工事は、トイレ以外に、床等の改修工事を含めた学校施設内部の工事、校庭の美化整備も進められて行く事を期待する。

また、生涯学習の場としての施設についても改修工事・建設工事が進められているが、利用者のニーズと利用し易さを考慮しつつ、皆に親しまれ、多くの人に利用される、生涯学習にとって効果的な施設になる様に、引き続きの協議・検討をお願いする。

2 教育の充実

学校教育においては、小中一貫教育の本格実施、義務教育学校への移行、更にコミュニティ・スクールの導入・実践と、この10年間で、府中市教育は、様々な制度・手法を駆使して、進化向上を遂げられた。

校長の熱い思い、先生方の熱心な授業研究と授業、児童・生徒の一生懸命さ等を見て、感じさせていただく中で、教育は充実していると思っている。

英語教育、キャリア教育、食育、読書活動等々も含め、全体的に高いレベルにあると思うが、このことに満足することなく、先生の熱い思いを存分に出し切って、更に進化して行くことを期待している。

また、スマートフォンの利用、情報化社会の加速にともなう問題も社会問題となり、例外ではなく、身近なところで現実に起こってきている。

利便性の向上とともに、それらを利用する人の人間力の向上が必要と感じている。

社会生活において起こる問題を解決し、社会の中で生きていくためには、様々な知識を身に付け、見識へと高め、更にそれを実践していくための実行力たる胆識を身につけるといった、正に人間学・人間形成のための学びの充実が必要かと思う。

特例による新たな教育課程の取り組みも模索し、各校特色を持って、今までできなかったことを少しずつ実現して来ているが、本格実施された道徳教育の充実と国語教育の更なる充実に期待するものである。

そのために、図書の実充も、欠かせないものと感じている。

企業・団体からの図書の寄贈だけではなく、広く市民にお願いをして図書の寄贈を募る、またはお借りする等、様々な工夫をして、学校教育の場においてのみならず、生涯学習の場においても、多くの人に多くの良い本に出会って欲しいと願っている。

3 スポーツ、文化・芸術活動

近年、スポーツ施設の建設、整備について足踏み状態ではなかったかと感じていたが、本年度から、積極的にスポーツイベントを企画・開催し、また芝生のグラウンド、中心市街地への市民プール、ジム等のスポーツ施設の建設の実現に向けた協議、検討が進められてきていることは、高く評価されるべきものと考え、大いに期待するものである。

これらの施設が充実することは、府中市民はもとより、市外の方々にも、府中市に親しみを持っていただくきっかけになり、生涯学習の場としても有効と考えるとともに、健康づくり、ひいては医療費の削減といった様々な効果も生まれ、人々がいきいきと暮らす、明るい豊かなまちづくりにつながるものとする。

また、備後国府跡の整備・活用については、見学・講演会・イベント開催により、一步一步着実に進んでいるが、備後国府跡に対する市民意識の向上とまちづくりへの貢献という点については、今後の課題ということに異論はないと思う。

歴史を通して、府中市民としての誇りを持ち、府中市の自慢話ができる市民を増やすことが、まちづくりにつながると感じている。

歴史民族資料館の改修、移築も含め、歴史ゾーンの創設、芸術ゾーンの創設、前記のスポーツゾーン等期待するものである。

合わせて、利用者のための乗り合いタクシー等交通手段・駐車スペースも重要な課題ではないかと思う。

最後に、文化・芸術面においては、音楽、美術など、府中市内で活動されている団体は多くあり、活発な地域と感じており、公的な美術館等の常設展示施設も必要ではないかと思う。

文化・芸術活動を府中市として支援していくことにもつながり、文化・芸術活動を行う人々の意欲にもつながると考える。

4 まとめ

「期待」という文字を多く使わせていただいた。

府中版ネウボラの事業において、学校教育・生涯学習の充実は、重要な位置づけにあり、福祉を支えるものとなると考えている。

この10年間の進歩は、著しいものがあり、評価すべきものと思うが、緒に就いたばかりという気持ちを、いつまでも持ち、各事業が充実されることを期待する。

V まとめ

府中市教育委員会は、平成27年10月から新たな教育委員会制度での運営となった。府中市総合教育会議の開催により、より多くの意見を聴取し、発信する機会を得たことにもなっており、小中一貫教育の推進、より一層の充実にまい進している。

平成29年度の評価については、第4次府中市長期総合計画の第1期実施計画内の事業で、教育委員会の主要な21事業について点検・評価を行い、概ね妥当であるとの評価となった。中国地方初となる義務教育学校の設置、府中市教育委員会が実践する「小中一貫教育」及び「コミュニティ・スクール」の進展により、学校、地域、保護者がともにスクラムを組み、教育環境の充実が深まりを見せていると実感する1年間であった。教育都市として、全国トップランナーとして走り続けていきたい。

平成27年4月に60年ぶりに改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、事務事業の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされた。評価に対して外部有識者からは、「学校教育・生涯学習の充実は、重要な位置づけにあり、福祉を支えるものとなる」という意見を頂き、各事業の一層の充実に期待をいただいた。寄せられた貴重な意見を参考にし、教育都市 府中市としての気概と、緒に就いたばかりという気持ちを、いつまでも持ち、生涯を通した「学び」の実践を推進していきたい。